



# 令和6年度 社会資本整備の推進に関する 提案・要望



令和5年8月

# 令和6年度

## 北海道開発事業費 国費要望額

### 要望区分別

単位：億円

要望区分	令和6年度 要望額 (A)	令和5年度 予算額 (B)	増減額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
治山治水	272	141	130	192%
道路整備	341	273	68	125%
港湾空港等	19	15	4	123%
住宅都市環境整備	69	56	13	124%
水道廃棄物処理等	195	63	132	309%
農林水産基盤整備	852	438	415	195%
うち 農業農村整備	540	265	274	203%
社会資本総合整備	938	572	366	164%
推進費等	14	14	0	100%
北海道開発事業費 合 計	2,700	1,572	1,128	172%

※端数処理の関係で合計と内訳、要望額・予算額と対前年度比が一致しない場合がある。

※建設部に関連する要望額は赤太枠の内数。

※上記要望額のほか、北海道開発事業費外で910億円（対前年度比299%）を要望している。

# 我が国の発展に貢献する 北海道の社会資本整備の推進

北海道は、豊富な再生可能エネルギーをはじめ、我が国最大の供給力を有する農林水産業、世界に誇る自然や文化を活かした魅力的で質の高い観光資源といった大きなポテンシャルを有しており、こうした北海道ならではの独自性や優位性を活かしながら、将来にわたって持続可能な活力ある北海道の実現と我が国の発展への貢献をめざして取り組んでいます。

こうした中、人口減少や高齢化の急速な進展に伴う需要の減退や、地域や産業の担い手不足、交通ネットワークの確保など、多くの課題に直面しています。

また、近年頻発・激甚化する自然災害や今後一斉に更新期を迎える施設の老朽化への対応など、社会資本整備を取り巻く環境は極めて厳しい状況となっています。

道としては、このような状況を踏まえ、北海道が有するポテンシャルを最大限発揮しながら、自然災害から道民の命と暮らしを守る「防災・減災、国土強靱化」や、安全・安心な社会資本を次世代へつなぐ「インフラメンテナンス」、地域経済の活性化を図り、道民の生活や社会活動を支える「持続可能な社会・経済の形成」の3つの柱を重点的に推進し、その実施にあたっては「ゼロカーボン北海道の実現」や「デジタル社会の実現」に向けた取組を横断的に進めるとともに、次世代半導体製造拠点のインフラ整備など、限られた財源の中で社会資本整備を戦略的・効果的に推進するために必要な予算の確保を要望します。

つきましては、こうした本道の実情や取組などをご理解いただき、令和6年度の施策の推進や予算編成に当たっては、北海道の活性化、ひいては我が国の成長・発展に必要な事項について、特段の御配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和5年8月

北海道知事

鈴木 直道

# 目次

## 我が国への貢献

◆食料安全保障の強化に貢献する北海道	1
◆2050年カーボンニュートラルの実現に貢献する北海道	2
◆道民の命を守り、国全体の強靱化に貢献－北海道強靱化計画	3
◆観光立国の実現に貢献する北海道	3

## 北海道の地域特性と直面する課題

◆広域分散型社会	4
◆積雪寒冷な気候と頻発する自然災害	4
◆人口減少・高齢化の状況	5
◆社会資本の老朽化	5

## 令和6年度 社会資本整備に関する要望

■防災・減災、国土強靱化	6
◎自然災害に対する北海道自らの脆弱性を克服	9
■インフラメンテナンス	16
◎社会資本の戦略的な維持管理・更新、耐震化	17
■持続可能な社会・経済の形成	19
◎高規格道路等ネットワークの形成	20
◎物流交通ネットワークの形成	22
◎地域の特性に応じた魅力的なまちづくり	25
◎誰もが安心して暮らせるまちづくり	26
◎自然豊かな水辺環境づくり	29
◎広域観光を支えるネットワークづくり	30
■ゼロカーボン北海道の実現	32
◎インフラ分野の脱炭素化	32
■デジタル社会の実現	34
◎インフラ分野のデジタル化	34

施策や制度に関する要望	38
-------------	----

# [国土交通省部局別要望事項一覧]

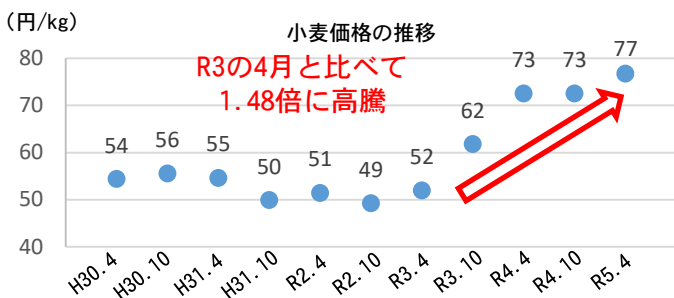
令和6年度 社会資本整備に関する要望		総合政策局	不動産・建設経済局	都市局	水管理・国土保全局	道路局	住宅局	北海道局
<b>■防災・減災、国土強靱化</b>								
◎自然災害に対する北海道自らの脆弱性を克服	P9～P15		○	○	○	○	○	○
<b>■インフラメンテナンス</b>								
◎社会資本の戦略的な維持管理・更新、耐震化	P17～P18			○	○	○	○	○
<b>■持続可能な社会・経済の形成</b>								
◎高規格道路等ネットワークの形成	P20～P21					○		○
◎物流交通ネットワークの形成	P22～P24			○		○		○
◎地域の特性に応じた魅力的なまちづくり	P25			○	○		○	○
◎誰もが安心して暮らせるまちづくり	P26～P28			○		○	○	○
◎自然豊かな水辺環境づくり	P29				○			○
◎広域観光を支えるネットワークづくり	P30～P31					○		○
<b>■ゼロカーボン北海道の実現</b>								
◎インフラ分野の脱炭素化	P32～P33			○	○	○	○	○
<b>■デジタル社会の実現</b>								
◎インフラ分野のデジタル化	P34～P37	○	○	○	○	○	○	○

# 我が国への貢献

## ◆食料安全保障の強化に貢献する北海道

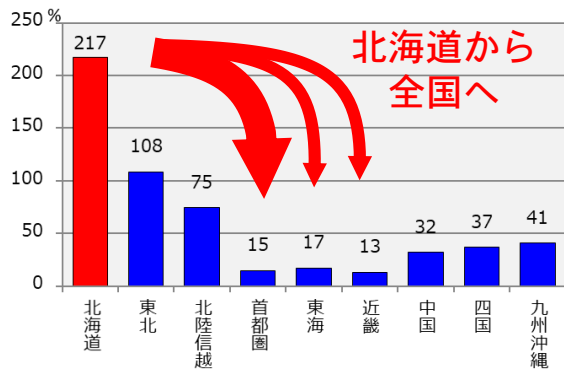
北海道は、我が国最大の食料供給地であり、「食料自給率向上」および政府が掲げる「2030年までに農水産物・食品の輸出額5兆円」といった輸出拡大戦略の実現ならびに我が国の食料安全保障の強化に貢献します。

### ●ウクライナ情勢の緊迫化による食料価格の高騰



【出典: 輸入小麦の政府売渡価格について(令和5年3月)(農林水産省)】

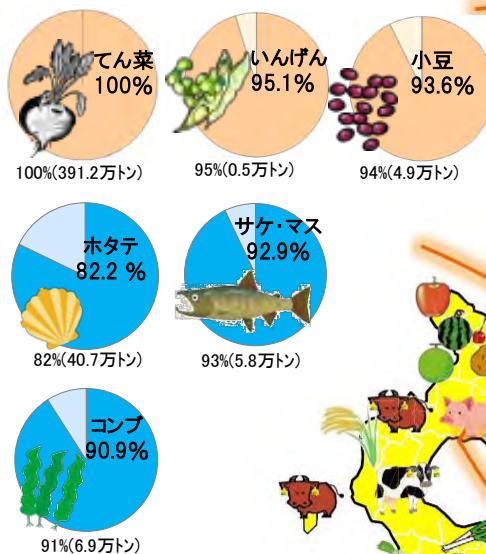
### ●食料自給率 (カロリーベース)



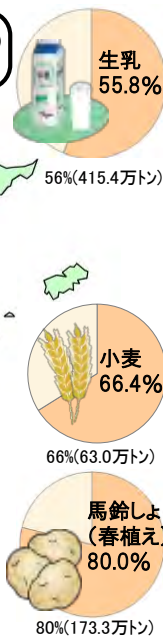
【出典: 令和2年度(概算値)の都道府県別食料自給率(農林水産省)】

### ●北海道における主要な農水産物と全国シェア(令和2年度)

【道央地域】(石狩、空知、胆振、日高、上川、留萌)  
稲作を中心に畑作・野菜などの農業が展開。



【道東/道北地域】(宗谷、釧路、根室)  
酪農を中心とした農業を展開。

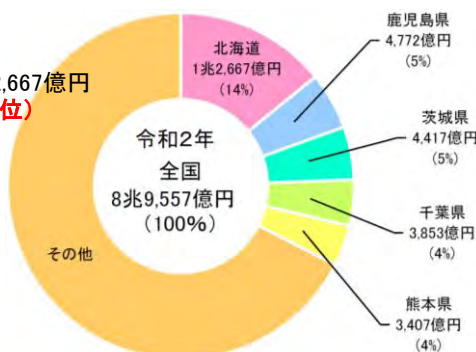


【道南地域】(後志、渡島、檜山)  
稲作を中心としつつ、果樹など多様な農業が展開。

【道東地域】(オホーツク、十勝)  
畑作での輪作と酪農が中心の農業を展開。

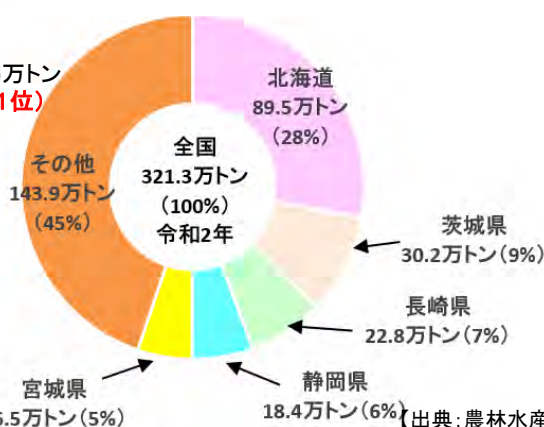
【出典: 北海道農業をめぐる事情(北海道農政事務所)、農林水産省統計情報(農林水産省)】

<農業>  
農業産出額 1兆2,667億円  
全国の14%(全国1位)



【出典: 北海道農業をめぐる事情(北海道農政事務所)】

<水産業>  
漁業生産量 89.5万トン  
全国の28%(全国1位)



【出典: 農林水産省】